

代

方

_____ 当科における後天性真珠腫に対する外耳道後壁保存型鼓室形成術の研究

_____ 当科で実施した外耳道後壁保存型鼓室形成術の手術成績について詳細な検討を行います。

_____ 当科で実施した後天性真珠腫に対する外耳道後壁保存型鼓室形成術の治療成績を分析することにより、その有用性を検証します。

_____ 対象は、2015年1月から2019年7月までの4年半間に当科で施行した外耳道後壁保存型鼓室形成術で、術後1年以上経過した弛緩部型真珠腫は42耳および緊張部型真珠腫37耳とします。

研究方法は、真珠腫の進展程度、耳小骨の再建方法、術後聴力改善成績、および術後再発成績について検討を行います。具体的な方法ですが、真珠腫の進展程度やアブミ骨病変、耳小骨の再建法の違いによる聴力改善の差について統計学的な解析を行います。

_____ 研究に際して得られた検査結果や診療情報は、氏名や病院のID番号などの個人識別情報を削除し、符号をつけて匿名化します。データの保管につきましても、個人情報を削除して匿名化したデータを、帝京大学医学部附属溝口病院耳鼻咽喉科医局内にて施錠可能なキャビネットで厳重に保管します。研究終了後のデータも、帝京大学臨床研究センターで研究内容を論文などで発表後10年間は保管し、他機関へのデータ提供は行いません。

報

報

